

### 休廃業・解散

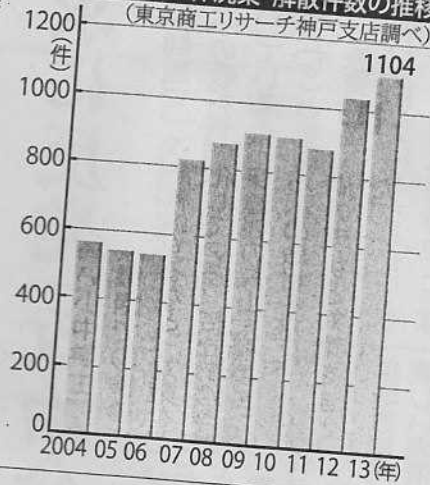
# 過去10年で最多

## 13年県内前年比6.6%増1104件

26.1.15 神戸

#### 兵庫県内企業の休廃業・解散件数の推移

(東京商工リサーチ神戸支店調べ)



や資材高騰が重なって会社をたたんだケースが多いと分析。飲食や宿泊業など「サービス

(鎌田倫子)

業他」が2300件、「小売業」が1336件などと続いた。  
同支店は「先行きが不透明な中、周囲に迷惑をかけるうちに判断したケースが多い」としている。

東京商工リサーチ神戸支店(神戸市中央区)は、2013年の県内企業の休廃業・解散の件数が前年比6.6%増の1104件になったと発表した。2年連続の増加で、集計を始めた04年からの10年間で最多となった。

同支店が自社のデータベースから集計した。休廃業、解散ともに決議された時点では

倒産として集計されなため、今回のデータは水面下で企業が消えている厳しい現状を示している。大半を小規模・零細事業者が占め、「後継者不足や中小企業で長引く業績低迷が影響した」とする。産業別では、一人親方の大工を含む「建設業」が371件と最多。不況で経営体力が弱ったところに、人手不足